

追求

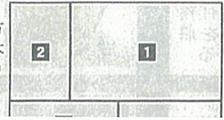
「どんなでもない状況での撮影を乗り越え、動かない人間になった気がする」と感慨を口にした。長期の山小屋生活は、俳優を含むスタッフ全員に「最後までやり遂げた」という熱意と連帯感を生んだ。香川は「俳優やスタッフがたくましくなり、人間の成長を目の当たりにできた」と言う。

現場では木村監督の怒号がよく飛んだ。「怒鳴っているけど、あれは愛のある叫び。撮影と天気との戦いでもある。その中で瞬間を切り取りたい」と思った。そうなる。一つの物を作り上げようとする気持ちで、僕はすくなく理解できた」と浅野は話した。

「厳しさの中にも美しさはない」。主人公、柴崎芳太郎のせりふは木村監督の信念でもある。美しい風景とは、じっと耐え抜いた者に対してだけ、神が恵んでくれるものだ。その美しさを撮るために三年を費やしたんだ」という木村監督の執念が、人知を超えた映画を生み出した。



- 3 雪に覆われた室堂で、浅野忠信(中央)、香川照之(左)に演技指導をする木村監督＝20年4月
- 4 室堂から撮影ポイントまで移動する撮影隊。辺りは雪にすっぽりと覆われている＝20年4月
- 5 撮影の合間に記念撮影する(右から)木村監督、浅野忠信、宮崎あおい、香川照之＝20年3月、愛知県犬山市の明治村
- 6 悪天候の中、羽沢雪渓の万年雪で撮影する木村監督ら＝19年9月



H21. 4. 29(水) 北日本新聞掲載

7 頂えキップ
届終るキップ

まずは「品質」、そして「信頼」。

30th
ANNIVERSARY

NIX

土木力。

「昔、人々は穴を掘り生活をしていましたが、冬は霜や雪などに苦しめられ、夏は暑さや蚊などに苦しめられていました。そこに聖人が現れ、土で土台を築き、木を構えて家屋を作り、棟を高くし、軒を低くすることで雨や風から守り、暑さを避けたので、人々の生活は安定しました。」これは古代中国の古典歴史書の一節です。このことから人々の生活を安定させるための「築土構木」の概念が定着したと言われています。また、同じ概念のことを欧米では、Civil Engineering(市民工学)といわれています。いずれも「人々の暮らしを安定させる」という共通の意識が含まれているのです。日本でも、基礎・基盤を表す「土」と、資材・骨組みを表す「木」の2つの言葉から「土木」という言葉が成っています。

私たちニックスは、人々の快適で安心な生活のために、ライフラインを中心とした社会基盤整備のための事業に参画してきました。土木設計技術の研究開発に力を注ぎ、誠意を持って業務にあたるというチャレンジ精神は、創業30周年を迎えた今、よりいっそう強いこだわりとなっています。

ニックスの土木コンサルタント事業は、道路・橋梁・トンネル・河川・上下水道・港湾・都市開発など、構造物や施設建設のための基本理論を研究する土木工学を基礎とした専門家集団の事業展開です。これまでの30年間に蓄積した技術力とノウハウを活かし、土木設計分野のプロフェッショナルとして地域社会の発展に貢献したいと思っています。これからのニックスに、どうぞご期待ください。

31年目の原点

まずは「品質」、そして「信頼」、そして「挑戦」。

おかげさまでNIXは、創業30周年。日本の土木設計分野において誠意を込めた技術力で社会貢献して参りました。一方で近年「土木」は、あまり良いイメージがありません。それでも私たちは「土木」という言葉に誇りをもち、さらには業務ひとつ一つの設計品質を高め、お客様から信頼を得ることを、不変の基本理念としています。そして「土木」への信頼や土木技術者の誇りの回復に、少しでもお役に立てれば幸いです。

代表取締役社長 市森 友明

NIX 株式会社 新日本コンサルタント

本社 〒930-0142 富山県富山市吉作910番地の1
TEL 076-436-2111
URL <http://www.shinnihon-cst.co.jp>
支店: 金沢 / 事務所: 小矢部 / 営業所: 新川・中野川・越前・高岡
南砺・津幡・能登・福井・大坂